

令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 萩原 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和元年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は、単学級ですので、個人が特定されるような公表の方法については、配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.37	19.80	33.24	41.74	50.32	9.42	151.45	21.61	53.61
本市	16.56	20.49	33.51	42.17	52.49	9.39	153.34	22.91	54.52

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.09	18.95	37.62	40.14	40.79	9.64	145.68	13.61	55.59
本市	16.49	19.55	38.14	40.49	42.02	9.64	147.47	13.79	56.34

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析

5年生児童は、運動に対する関心や意欲が高く、休み時間も進んで運動に親しむなど、運動好きな児童が多い。運動集会の実施や休み時間の外遊びを奨励したことで、児童の運動の日常化が図られ、休み時間や放課後、休日に運動に親しんでいる児童が多い結果となった。
 体育科学習においても、毎時間のねらいを基に、児童同士の話し合い活動や助け合い活動、振り返り活動を行っているという回答した児童も多い。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

体育科学習において、授業のはじめに走力を高める予備的運動を全学級において引き続き実施する。児童に「できる楽しさ」を味わわせるために、体育科学習における友達同士の学び合いを充実させるとともに、児童が主体的に学習に取り組めるよう、指導の工夫・改善を行い、効果的な指導法について全職員で共通理解を図る。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

児童の運動の日常化をさらに進めるために、児童会主体の運動集会「萩リンピック」を年に複数回実施する。運動の場づくりや体育用具の整備等を引き続き行い、運動が苦手な児童も、楽しみながら運動に取り組めるようなきっかけづくりや環境面の整備を進めていく。また、新体力テストの個人結果を全家庭に配付したり、学校便り等で家庭への啓発を行ったりして家庭の運動への関心を高める。